



はくい 石川県 羽咋市
姉妹都市
 ふくむはくい

SSTRでゴールを迎えるライダー



サンライズ・サンセット・ツーリング・ラリー
SSTR 10周年

SSTRは、日の出とともに日本海側以外の海岸をスタートし、日没までに千里浜を目指すアドベンチャー・ツーリングのラリーです。全国から集結するバイクが千里浜なぎさドライブウェイを駆け抜ける様子は圧巻です。SSTRは、冒険ライダー風間深志さん（東京都）がプロデュースするイベントで、平成25年の初開催から今年で10周年を迎えました。初開催時120台の参加から10年目を迎えた今年は、記念大会も含め1万台以上のオートバイが参加して盛り上がりを見せています。毎年多くのライダーが目指す千里浜の夕陽を藤岡市の皆さんもご覧になりませんか。

教えて！ **消費生活**

脱毛エステと関連商品の解約について

Q 雑誌広告「全身脱毛5000円体験キャンペーン」を見て訪れた美容クリニックで勧誘され、10回コース50万円の契約をした。施術後に使用するジェル2本5万円も購入し、支払いは36回のクレジット契約をした。1回施術を受けたが効果がなく、解約を申し出たら断られた。どうしたら良いでしょうか。

A 契約期間が1カ月を超え金額が5万円を超えるエステの契約は、特定継続的役務提供に該当し、「関連商品」として購入した商品も含めて契約書面受領日から8日間以内ならクーリングオフができます。ただし、関連商品（消耗品）を自発的に使用した場合は使用分については対象外となります。また中途解約の場合は、一定の解約料を負担する必要がありますので、清算書を求めてください。このような勧誘を受けた場合は、契約前に必ず概要書面の交付を受け、サービスの内容・価格・期間・支払方法・解約料などをよく確認することが必要です。特に、中途解約の条件や解約料について、理解しておきましょう。

消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用②01133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時

ふじおか Culture
 ~藤岡の文化を探る~
 No.79
 【問い合わせ 文化財保護課 (☎③5997)】

知られざる藤岡の石の文化
 ~三波川結晶片岩の利用~

本市には三波川変成帯という地層が分布し、キラキラした結晶を含む三波川結晶片岩という石が至る所に見られます。あまりにも身近な石ですが、関東では藤岡や埼玉県長瀬町といったごく限られた場所にしかない石で、他の場所にはほぼ存在しません。三波川結晶片岩の一種の三波石は庭石として著名ですが、三波川結晶片岩はそのほか前から人々に利用されており、藤岡の遺跡を発掘すると必ずと言って良いほどこの石を使った遺構・遺物に出合います。三波川結晶片岩は板状に細長く割れるという性質を持っており、3000年ほど前の縄文時代には、お祭りで使用する石剣を作成するのに使われていました。また河川敷で無尽蔵に採取できるため、造るのに大量の石が必要な古墳造りで積極的に使用されていました。藤岡市の特徴的な横穴式石室の造り方に「模様積み」と呼ばれる積み方がありますが、これは大きさが異なる

三波川結晶片岩を巧みに組み合わせ構築するもので、現在の感覚でも美しいと感じる芸術的な壁面です。そのほか、世界遺産高山社跡の重厚な石垣もこの石が使われており、先史時代から現代まで利用されてきたことが分かります。皆さんの周りにも、三波川結晶片岩が必ずあるはず。ぜひ三波川結晶片岩のさまざまな利用方法を探してみてください。



高山社石垣

いまからできる！
日常防災
 Everyday disaster prevention

災害時に自分や大切な家族を守るには知識と備えです。防災は日常に転がっており、生活と密接につながっています。防災を難しく考えず、簡単な日常の行動と結び付けて取り組んでいきませんか。

普段の持ち物を防災目線でチェック！

【問い合わせ 地域安全課 (☎②7444)】

自然災害はいつどこで起きるかわかりません。通勤・通学・旅行・買い物中に災害が起きたときに、身近なものや日頃から持ち歩くものが防災グッズとして活用できます。



- 携帯電話 身分証明書
 - 現金（小銭含む。キャッシュレス決済の普及により現金を持ち歩かない人も増えてきましたが、停電などのときは、現金があると便利です）
 - 携帯充電器
 - メンソールのガム、飴など（メンソールガムは口腔ケアに、飴はカロリー摂取に役立ちます）
 - 水500mL
 - 名前、緊急連絡先、血液型、家族との緊急避難場所などを書いたメモ
 - 笛 ライト 油性ペン
 - 常備薬・外傷治療薬などの救急セット
 - ハンカチ
 - ウェットティッシュ ティッシュペーパー
 - 生理用品 髪留めゴム・ピン
- 普段から持ち歩くものにも防災に役立つものはあります。また、防災グッズになるという視点で持ち歩くものを見直すのもいいでしょう。